

報道発表資料

令和8年4月22日

担当:教育部 生涯学習課 文化振興・リフノス係
和地・清野

電話:022-767-2197

豊かな自然を巡る「利府町散策マップ」を完成

この度、宮城県利府町赤沼字番ヶ森地域を対象とした「利府町散策マップ」リーフレットを完成いたしましたので、お知らせします。

利府町赤沼地域の豊かな自然を組み合わせた新たな魅力を広く周知することを目的としています。利府町へのアクセス情報や地域の動植物紹介、トレッキングコースの簡略図を掲載しており、初心者から自然愛好家まで、幅広い層が気軽に散策できる内容となっています。

今後、本マップを活用することで、利府町赤沼地域の自然の豊かさを体験できる新たな観光資源としての活用が期待できます。

報道機関の皆様におかれましては、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

【掲載内容】

- 番ヶ森の動植物紹介
- トレッキングコース簡略図

■その他:

- ・参考資料（完成したマップ添付データ）

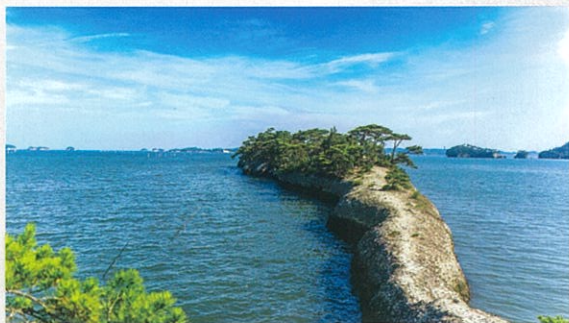
利府町について

利府町は宮城県のほぼ中央に位置し総面積は44.89km²、人口約3万6千人で、仙台市の北東に接し他に多賀城市、塩竈市、富谷市、松島町、大和町、大郷町と接しています。

歴史上、古くは多賀城の国府に、近世に入ってからには仙台北城下に接していることから、北方の要衝として栄えています。

県民の森に隣接する宮城県総合運動公園（グランディ・21）には、2002年FIFAワールドカップ、東京2020オリンピックのサッカー競技が開催された宮城スタジアム（キューアンドエスタジアムみやぎ）や約7,000人収容の宮城県総合運動公園総合体育館（セキスイハイムスーパーアリーナ）などがあり、著名ミュージシャンの大規模コンサートが行われています。

また現在は政令指定都市仙台市の中心部まで約30分の通勤、通学圏でもあることから仙台都市圏の中では新興のベッドタウンとなっています。



令和7年度公民館教室

利府町の動植物を学ぶ

～フィールドワーク&マップ作り～

この公民館教室は受講生の皆さんと四季を通じて生き物や自然の魅力を研究します。フィールドワーク調査結果をもとに散策がもっと楽しくなるようなオリジナルマップを作成いたしました。



【受講生】青柳 湊汰 青柳 克則 青柳 たみ子 相楽 美代子 豊石 昭子
福地 慧 福地 真樹 泉 ゆき子 阿部 ほとり 阿部 博和 高橋 はつみ
高橋 強 三井 薫乃 三井 健司 井上 和彦

【運営協力】佐藤 薫也 【デザイン】村上美緒 【発行日】2026年4月

アクセス

〔バス〕利府駅前バス乗り場「葉山赤沼線 陸前浜田駅行き」
葉山西下車 徒歩5分「番ヶ森トレッキングコース入口」
※路線バス・ミヤコーバス
※乗車時間約15分
※トレッキングコース入口から展望台まで約30分

〔車〕無料駐車場あり 3台



981-0103 宮城県宮城郡利府町
森郷字椎の木前31-1
公民館・文化会館 022-353-6114



利府町教育委員会
利府町文化交流センター「リフノス」公民館

番ヶ森 トレッキングコース



番ヶ森は標高216mの利府町で一番高い山です。山頂には展望台があり、松島湾や栗駒山などの自然を360度見渡すことができます。
※植物の見頃は春・夏となります。



スミレ

トレッキングコース内には様々な種類のスミレが自生しています。

「十符の里」の由来

その昔、利府の湿地帯には良質なスゲ草が自生し、これを使って「菅蓆」(すがこも)という敷物が作られていました。編み目が10筋あることから「十符の菅蓆」とされ、やがて歌人たちが歌枕として使い、利府周辺が「十符の里」と呼ばれるようになりました。

ニガイテコ
ニワカズミ
イヌガンシク



フデリンドウ
アオキ

ユウシュラン
リサノオウ
ハナイカタ

トリアシショウマ



番ヶ森に生息している昆虫達

ヤマユリ



ムラサキケマン



ヤマツツシ

イチヤクソウ

ホミジイチゴ

ガルトリイバラ

注意事項

- ▶ ゴミは持ち帰りましょう。
- ▶ 火気不始末は山火事の恐れがあり大変危険です。火気使用には十分にご注意ください。
- ▶ クマやハチ等には気を付けましょう

マムシゲサ

トレッキング コース 入口

スタート